



齊藤由織プロデュース
語り・朗読

結ノ会

平岩弓枝作

「ふたりぼっち」

気は良いけれど、強情っぽりでわがまま。子どもみたいな村越きむ子は、元芸者で二号さんあがり。一方、身よりのないお手伝いさんのくめ子。この二人、寄るとさわるとケンカばかりしながらも、何故か別れないで神楽坂で十五年も一緒に暮らしている。それがあある口……。

『平家物語』より

「祇王と佛」「那須与一」

琵琶法師によって語り継がれたと言われる平家物語は、十二巻に添えて灌頂巻という壮大な作品です。雄壮な源平合戦の場面も見どころ、聞きどころですが、それを取り巻く女人の逸話もまた、哀愁ただよう場面がたくさんあります。今回は、女性「祇王と佛」男性「那須与一」を取りあげます。那須与一の物語は琵琶歌では「扇的」というタイトルで今でも大変良く演奏されています。今回は齊藤由織の朗読と琵琶奏者坂田美子の琵琶歌と語りを交えてお届けします。



琵琶・歌・語り
坂田美子 (さかたよしこ)

中学より琵琶を半田淳子に10年間師事。以後、謡曲を浅見重好に、講談を神田松鯉に学ぶ。古典曲の他に現代語の弾き語り等も創作。また、琵琶ユニット“びかむ”を結成し、琵琶歌、民謡、子守歌などのアレンジ曲やオリジナル曲、音楽物語等を多数発表。第40回琵琶楽コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。NHKTV「新日本紀行ふたたび」テーマ曲(富田勲作曲)の作詞と歌を担当、「名曲アルバム」では『壇ノ浦〜安徳天皇入水』を自作自演。「声に出して楽しむ平家物語」講座を大人の休日倶楽部他で開催。20ヶ国を超える海外公演等、希少な琵琶奏者の一人として琵琶普及活動にも注力している。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。



語り・朗読
齊藤由織 (さいとうゆおり)

高校時代より朗読を始め、日本大学芸術学部在学中に故高橋博師にアナウンスを、故西澤實師に朗読の教えを受ける。2000年より「ぶれさんぼうず」の一員として活動。定例公演のほか、音楽や伝統芸能とのコラボレーションなど、さまざまなイベントや舞台で朗読を行う。NHK文化センター、目黒学園カルチャースクール、早稲田エクステンションセンター中野校等で愛好者を指導。現在、神田松鯉師のもと講談も学んでいる。

2024年10月30日(水) 13:00 開演 (12:30 開場)

歌舞伎座 花籠ホール

参加費：一般 4,000 円 / 青少年 1,000 円 ※満 12 才～26 才未満

[R] レギュラー会員 3,000 円 / [S] 賛助会員 2,000 円

お申込みは、Eメールまたはホームページ「予約フォーム」より。

【公演名「結ノ会 10/30」/お名前/電話番号/申込人数】をお知らせください。

後日、受付確認メールにて代金振込のご案内をお送りいたします。

■HP: <https://www.tpac.info/events/detail/id=650>

■E-mail: Tpacdentobunka@gmail.com

◎その他のお問合せは、ホームページまたはメールにてお願いいたします

主催：伝統文化交流協会 協賛：古典の日推進委員会 後援：ジャポニズム・歴史街道



※当日、歌舞伎座正面玄関からの入場はできません

【地下鉄から】東銀座駅から直結、歌舞伎座B2「木挽町広場」内をセブンイレブンに向かって進み、突きあたり左手奥のエレベーターで3階へ。

【地上から】昭和通り沿いの、歌舞伎座タワー「昭和通り口」(松石ビルの隣)を入りエレベーターで3階へ。

古典の日

平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により、毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。